

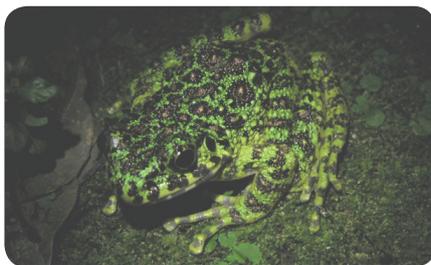
# あまみ す めずら どうぶつ 奄美に住んでいる珍しい動物たち



## アマミノクロウサギ

せいそくち あまみおおしま とくのしま  
(生息地：奄美大島・徳之島)  
とくべつてんねんきねんぶつ  
特別天然記念物 ウサギ科

ウサギの中では原始的な姿をしているので、  
【生きた化石】とよばれています。耳はノウサギ  
にくらべるとすいぶん短いのが特徴で、手足  
は短く、がっしりとしています。



## アマミイシカワガエル

せいそくち あまみおおしま  
(生息地：奄美大島)  
けんしててんねんきねんぶつ  
県指定天然記念物 アカガエル科

【日本で一番きれいなカエル】と言われていま  
す。屋間は木や地面にできた穴の中などですご  
し、夜になると活動し、虫などを食べて生活し  
ています。



## ルリカケス

せいそくち あまみおおしま かけろまじま うけしま  
(生息地：奄美大島・加計呂麻島・請島)  
くにしててんねんきねんぶつ  
国指定天然記念物 カラス科

鹿児島県の県鳥(県を代表する鳥)になっ  
ています。頭から胸にかけて羽が紫がかった深い  
青色(瑠璃色)なので、【ルリカケス】という  
名前がつけました。



## オットンガエル

せいそくち あまみおおしま かけろまじま  
(生息地：奄美大島・加計呂麻島)  
けんしててんねんきねんぶつ  
県指定天然記念物 アカガエル科

茶色のすんぐりとした大きなカエルで、背中な  
どにイボのようなものがあります。メスは流れの  
ゆるやかな川や池の浅い場所などに丸くぼみ  
を作って卵を産みます。



## オーストンオオアカゲラ

せいそくち あまみおおしま  
(生息地：奄美大島)  
くにしててんねんきねんぶつ  
国指定天然記念物 キツツキ科

主に照葉樹林で暮らし、頭はオスが赤く、メス  
は黒色です。4月から5月ごろ、木に大きな穴  
を掘って子育てをします。この時期にはさか  
んにクチバシで木をつついて音をたてています。



## イボイモリ

せいそくち あまみおおしま うけしま とくのしま  
(生息地：奄美大島・請島・徳之島など)  
けんしててんねんきねんぶつ  
県指定天然記念物 イモリ科

全身が黒褐色で、おなかも黒色ですが、しっぽ  
の下と手足の先はオレンジ色です。肋骨の先が  
背中の横に張りだして、原始的な姿のまま  
になっています。



## オオトラツグミ

せいそくち あまみおおしま  
(生息地：奄美大島)  
くにしててんねんきねんぶつ  
国指定天然記念物 ツグミ科

奄美大島の照葉樹林で暮らし大きなツグミの  
仲間、とても少ない数しか残っていません。  
オスとメスの出会いの季節(3月から4月)には、  
明け方に美しい声でさえずります。



## アマミトゲネズミ

せいそくち あまみおおしま  
(生息地：奄美大島)  
くにしててんねんきねんぶつ  
国指定天然記念物 ネズミ科

2センチメートルほどの針のような毛を全身にも  
ち、森で生活するネズミです。夜行性で木の  
実や虫などを食べています。ハブなどの敵が近  
づく、ジャンプして逃げます。



## リュウキュウアユ

せいそくち あまみおおしま  
(生息地：奄美大島)  
ぜつめつじきく  
絶滅危惧ⅠA類 キュウリウオ科

本土のアユにくらべて小さく、おなかの銀白色  
と胸びれ近くの黄色いたてじまが鮮やかです。  
奄美大島中部の川で暮らしています。



コクトゥン

あまみ せかい  
奄美には、世界でもここにしかない動物がたくさん住んでいます。このごろは、  
こうつうじこ ひと す どうぶつ た  
交通事故にあたり、人が捨てた動物に食べられたりして数が減ってしまいました。ペット  
ただ か どうぶつ まも たいせつ  
を正しく飼い、これらの動物を守ることが大切です。

せかい しぜん いさん とうろく  
世界自然遺産登録をめざして